

謹賀新年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新たな年、より皆様とのパートナーシップ構築の為に業務に邁進してまいります。すので宜しくお願い致します。

新年あけましておめでとうございます。皆様いかがお過ごしでしょうか？

Open Talks!を始めて6周年目に突入しました。今後も気持ちも新たに皆様のお役に立つ情報発信してまいります。



代表取締役社長 田中 優一郎

代表取締役会長 田中 洋

Open Talks! VOL.61

代表取締役会長 田中 洋

2014年を振り返って

2013年5月にオープンした新砂センター(フルフルメント)は、開業一年半を迎えお客様にもサービス面で満足していただいた結果、順調に軌道に乗ってきたと感じています。

更に、湾岸センターをオープン出来たことが、強く印象に残った一年でした。

2015年の抱負

サービスの内容を充実させ、より多くのお客様のお役に立てるように更なる強化を図って行きます。新たにECをお考えのお客様には、立ち上げから販売まで行えるサービスの提案をしていきたいと考えています。

湾岸センターは、現在オーティエスで行っている業務のすべてを提供出来るセンターにしていきたいです。今後もオーティエスのサービスの決め手は「人」なので、社員・契約社員・パティ(パート)に至るまで人材を育てていく事にも力を入れていきます。

代表取締役社長 田中 優一郎

2014年を振り返って

いろいろな事にチャレンジをした一年でした。その中で反省点もありますが、一つ一つの事がクリア出来た結果、成果を上げられたと感じています。やはり、新たに始めた事で成果を上げられるようになるためには、長い時間が必要だと痛感した一年でした。

2015年の抱負

お客様に活用していただけるように、湾岸センターをフル稼働させていきたい。また、ご要望の増えている品質管理業務・システム外販 撮影サービス・海外向け販売のお手伝い等を充実させていきます。今後、お客様にとって必要となるサービスの拡充とそのため必要な社員教育に力を入れていきます。まずは社内外の研修を利用し、品質管理業務に力を入れていきます。

皆さん、知っていましたか？

おせちの由来

おせち料理とは正月に食べるお祝いの料理です。漢字では「御節料理」(おせちりょうり)と書きます。単に「おせち」ともいいます。「おせち」とは本来、暦上の節句(節供)のことを指します。その節句に作られる料理をおせち料理と呼んだのですが、現在では節句の一番目にあたる正月の料理を表す言葉として使われています。

おせちのなぜ

おせち料理を重箱につめ、重ねるのはなぜ？おせち料理を重箱に詰め、重ねて用意するのは、めでたさを重ねるという意味で縁起をかつぐためだそうです。

皆様はどんなおせちを食べましたか？私は伊達巻が重箱にぎっしり！というのが好みです。



(編集 櫻庭)

CS アンケート

毎年10月頃にお問い合わせしています「CSアンケート」ですが、貴重なご意見をいただきありがとうございます。その中の「新サービスへの興味があれば回答をお願いします」という項目で、複数の顧客様より同様のご意見がありました。

その内容はズバリ「修理品の対応」

現状お困りの内容としては、修理品の処理なのだと感じました。修理業務に関しては、現在、湾岸センターを中心としてサービスの拡大計画を進行中です。

不良品はお客様にとっては頭の痛い課題ではありますが、避けられない部分でもあると言えます。



そんなお客様を困らせていること、滞留してしまっている業務などを解消できるように努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

OTSブログがスタートしました！

お客様の成功・発展に貢献する
ファッションビジネスサポーター

OTSスタッフブログ

OTTS CORPORATION
APARRELL 物流、ジュエリー 物流、品質管理等おまかせください！

株式会社オーティエス
代表取締役 社長 田中 優一郎



ファッション企業様 お役立ち情報を毎日発信中です！
満を持して(?)遂に本格的なブログページを開設しました。
弊社代表田中をはじめ、マーケティング部、システム部より、
平日の毎日に更新予定です！お楽しみに！！
←左のQRコードよりサイトへGO!



OTSのサービスを振り返って 【連載企画：最終回】

今年で30期を迎えるにあたって連載企画にてお届けいたします！OTSのサービスの変遷を振り返り、これからもファッション企業様のお役に立てるよう、様々なサービスに挑戦してまいります。今月は借りましたつも？遂に最終回！業務統括部長の奮闘にインタビューしました！

OTSに入社して27年目になります。アルバイトからスタートし、現場から様々な経験を経て今日に至ります。

振り返ってみると、品質管理やECサービスの立ち上げ時の苦労が思い出されます。品質管理は、当初、外観検品や検針を行うといった内容で、単なる「製品化」の観点でした。その後、お客様の要望も多数いただき、選定業務やカスタマーサービスなど、より深い部分までサービスの幅を広げていきました。当時はまだまだ知識不足で、専門用語の勉強など試行錯誤の繰り返しの日々でした。

ECについては、新システムの構築を含め、運用定義の打ち合わせをお客様と何度も何度も行い、こちらも試行錯誤を重ねました。それらはOTSの基本ECの仕組みとして今でも運用しています。業界全体で振り返ってみると、この30年近くで、OTSのサービスにも大きな変化がありました。企業側も大きく変わってきていると感じます。今までは何でも売れた時代で、在庫もなかった。その後、バブル崩壊の影響で、『出荷ができればOK』の時代から、『品質を強化』する時代、『付加価値』が必要とされる時代、そして、『エンドユーザー目線』をより重視する時代になってきていると思います。様々な時代の変遷の中でも、『一番のサービスはヒット』だと思っています。目の前の依頼に丁寧に正確に対応するのは当たり前。お客様を好きになってこそ、そのときに初めて、『お客様のために何が出来るのか』を考えられるようになります。その『真心』が付加価値となって、結果、企業同士の信頼性につながると感じています。

また、いま手掛けている計画として、地域の託児所をやりたいと思っています。子育てしながらでも働きやすい環境を提供することで、OTSに集まっていただき、OTSで働くことが『楽しい』と感じて欲しいですね。その結果、お客様に貢献できればと考えています。



業務統括部長 執行役員 倉掛 昭宏